



2022年分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

年間総取扱量 34万6千トン 前年比 17.5%減

概要

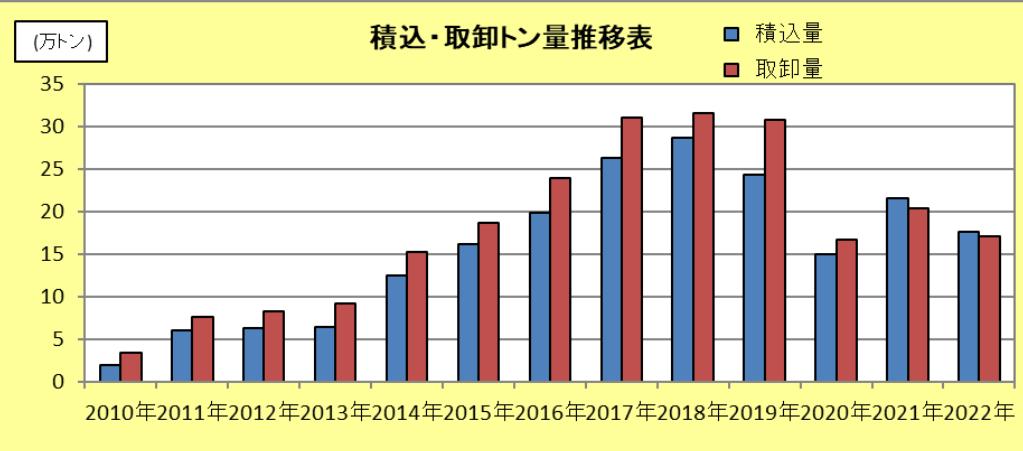
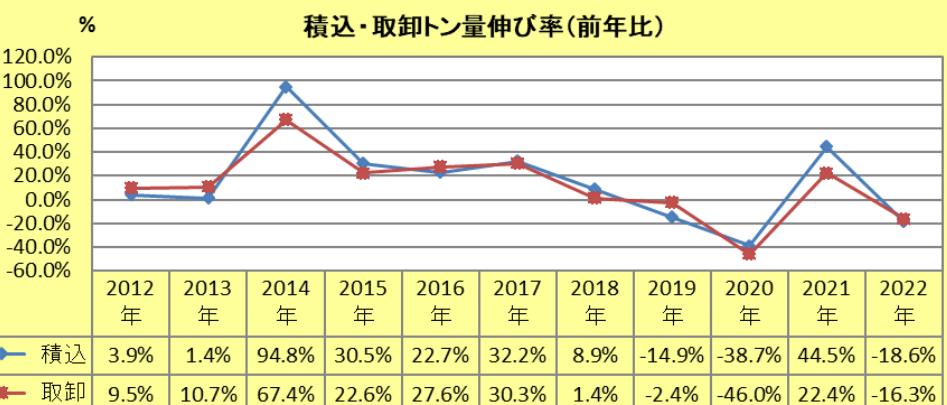
2022年の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 346,064トン(前年比 17.5%減)

積込量 175,743トン(同 18.6%減)

取卸量 170,321トン(同 16.3%減)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりの減少となった。



※2010年10月羽田再国際化

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田 地域通関 11, 696トン(前年比 10. 3%減、シェア 12. 1%)

その他地域通関 84, 929トン(同 17. 1%減、 同 87. 9%)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田 地域通関 47, 877トン(前年比 17. 8%減、シェア 46. 1%)

その他地域通関 56, 052トン(同 15. 9%減、 同 53. 9%)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 79, 118トン(前年比 21. 2%減)

取卸量 66, 392トン(同 15. 5%減)

となり、対前年比でいずれも2年ぶりのマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみてみると、

生鮮貨物 10, 753トン(前年比 13. 4%減、シェア 22. 5%)

ドライ貨物 37, 124トン(同 19. 0%減、 同 77. 5%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等27. 4%(前年比6. 9%減)、果物22. 8%(同0. 3%減)、水産物19. 7%(同43. 2%減)、植物(切花等)15. 9%(同35. 2%増)、乳製品8. 3%(同27. 0%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年			2021年		
	トン	前年比	構成比	トン	前年比	構成比
羽田空港輸入貨物量	47, 877	82. 2%	100. 0%	58, 270	112. 3%	100. 0%
生 鮮	10, 753	86. 6%	22. 5%	12, 416	136. 9%	21. 3%
ドライ	37, 124	81. 0%	77. 5%	45, 854	107. 1%	78. 7%